

ときめく、ひろがる、みんなのワクワク!

県広報とやま



富山県

特集1:災害に備えよう~もしものときのために~

特集2:パスポート取得費用の5,000円が
キャッシュバックされます!

2024

6

June

NO.511

令和6年6月2日発行

ほほえみナビ
今回のテーマ
「防災」



「小矢部市障害者団体連絡協議会」のみなさん
(左から) 高田洋信さん、舟本淳子さん、嶋田幸恵さん

障害者も健常者も
一緒に「自助」「共助」を。



「入善町飯野地域自主防災会」のみなさん
(左から) 佐原真知子さん、井田邦章さん、谷口幸男さん

それぞれの地域にあった
自主防災組織の形があるはず。



防災訓練の様子



避難所での段ボールベッド
設置の様子(今年1月)

「障害者は災害弱者。だけど自分たちでできることをしなければ」。身体など6つの障害者団体が連携する小矢部市障害者団体連絡協議会の嶋田幸恵会長。万一のとき、どうしてもらいたいかをまとめた『障害の種類別対応方法』の作成をはじめ、障害者と健常者が一体になった防災訓練を毎年実施。ともに関わることで災害時に必要なことへの理解を深めたと高く評価され、昨年、内閣総理大臣賞などを受けました。嶋田さんは「防災訓練はお互いを知る貴重な機会。誰でも気軽に参加できる場として続けたい」と共生の輪を広げていきます。

入善町飯野地域は、黒部川と海岸部を有し、古くから高波災害に見舞われてきたにも関わらず、自主防災組織は形骸化。いつ災害が起きてもおかしくない昨今の状況を踏まえ、R3年に再編成に取り組むことに。その特徴は、きめ細かな防災体制の明確化、区長を対象とした防災研修会の毎年実施、各地区独自で要配慮者を抽出し、近隣世帯同士で安否確認等を行う声かけ世帯の決定や発災時における支援体制の確立など。ほかにも、避難所開設訓練や三世代交流防災運動会の実施など、「自分たちの地域は自分たちで守る」活動を展開しています。

大切な命と暮らしを守る災害への備え

県の取組みは次頁へ

災害に備えよう ～もしものときのために～

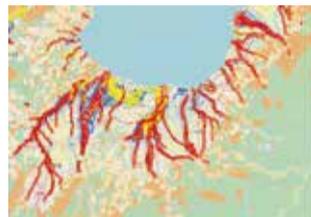
災害は、ある日突然起こります。災害はときに、多くの命や財産を奪っていきますが、日ごろからの備えで被害を小さくすることは可能です。災害の脅威から大切な命と暮らしを守るために、「自助」「共助」「公助」の視点から、防災の取り組みを続けていきましょう。

自助

防災の基本は、「自分の命は自分で守る(自助)」こと。自分と家族の命を守るためには、一人ひとりの災害に対する心構えや知識、備えが重要です。

1 まずは地域の「災害リスク」を知ろう

ハザードマップなどで、地域の災害リスクを知りましょう。危険箇所や避難経路などを確認し、適切な避難行動を事前に知っておくことが大切です。



シームレスデジタル防災マップ

2 マイ・タイムラインを作成し、身近な人と共有しよう

マイ・タイムラインとは、風水害などの自然災害に備えて、あらかじめ自分自身がとる避難行動を時系列的に整理した、一人ひとりの「避難行動計画表」です。いざというときに落ち着いて行動するために、それぞれのライフスタイルや災害リスクに合わせて避難行動計画を決めておきましょう。



「ふるさと富山風水害防災ハンドブック」▷

家族や身近な人がバラバラの状態被災することを想定し、連絡手段(安否確認)や合流する方法(避難所と経路)を事前に話し合っておくことも大切です。



3 備蓄・防災グッズを見直そう

「ローリングストック」で、食料品を消費しながら備蓄しましょう。非常持ち出し品も見直しをしましょう。(ご家庭によっては常備薬、紙おむつ、粉ミルクなども必要)



共助

災害の被害を最小限に抑えるために、日ごろから近隣住民や地域全体で互いに協力し助け合って防災活動に取り組みましょう。

積極的に防災訓練に参加しよう

災害発生時、より多くの命を守るために、普段から声をかけ合ってみんなで防災訓練に取り組むことが大切です。災害時は、とくに高齢者や障害者など、自力での避難が困難な人々が取り残されてしまうケースが多いです。

ケアを必要とする人々を巻き込みながら、必要な支援や配慮について共に学び、避難訓練を通して、避難手順や経路の確認、避難生活を過ごす術などを身につけましょう。



地域防災の要「自主防災組織」

「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えに基づき、地域住民が自主的に防災活動を行う組織です。

普段

防災訓練の実施や
地区防災計画の作成、
物資や資機材の整備など

災害時

初期消火や
避難誘導など

「自主防災組織防災学習教材・自主防災組織活動ハンドブック」▷



公助

公助とは、行政による公的な支援のことです。防災に役立つ制度や仕組みを知り、積極的に活用しましょう。

県では、地域での防災活動の中核となる人材である防災士の養成研修を実施しており、受講料の一部を助成しているほか、各市町村での自主防災組織の活動に対して支援を行っています。



「令和6年度富山県防災士養成研修の実施について」△

県のHPでは、地震や津波、風水害についての基礎知識や避難行動、日頃の備え等をまとめたハンドブックなどを公開しています。適宜ご活用ください。



詳細はこちら△

防災や災害支援、各種災害情報などについても県HPで情報を発信しています。

詳細はこちら▷



Pick UP

防災情報収集ツールを活用しよう！



○富山防災WEB

富山県の防災情報サイトです。注意報・警報・避難情報・気象情報・防災啓発情報などを掲載しています！



○シームレスデジタル防災マップ

国や県、市町村が公表している防災関連情報を集約し、地図上に可視化した「シームレスデジタル防災マップ」を公開しています！



その他アプリの例

○Yahoo!防災速報



○耳で聴くハザードマップ

「Uni Voice Blind アプリ」



Android



iOS

教えて！
とみら



防災をより“強く”するために

災害が与える影響は、人によって様々です。例えば女性が直面する問題は、避難所の間仕切りのない場所での着替えや授乳、女性用品の不足、育児や介護・家事の過度な負担、DVや性暴力の被害などがあります。こうした問題に対応するため、平常時から、**男女共同参画の視点**による**地区防災計画の策定**や**避難所の運営の取組み**を進めることが大切です。災害時に弱い状況にある人の立場で、対策を進めることが、防災や復興への回復力の強化につながります。

パスポートをとるなら今がチャンス!

パスポート取得費用の5,000円がキャッシュバックされます!

県では、今後の国際線再開を見据え、富山空港の利用活性化につなげるため、パスポート取得後に富山空港を利用した県民の方を対象に、取得費用の一部を助成しています。

対象者

●パスポート取得後に富山空港発着便を利用した富山県居住者

※対象となるパスポートの発行年月日は2024年4月1日(月)以降のもの(新規・切替いずれも含む)

※パスポートの有効期間は問いません。※利用する富山空港発着便は国内線・国際線を問いません。(片道利用でも可)

助成金額

1名5,000円(定額)

※パスポート取得時に取得費用が助成されるものではありませんのでご注意ください。



申請の流れ



申請期間

2025年3月12日(水)まで

※ただし先着1,500名に達した場合は終了します。申請の受付状況は申請サイトにてご確認ください。



富山きときと空港

申請条件

●パスポート取得後に富山空港発着便を利用すること

(申請時に、富山空港発着便いずれかの搭乗証明書等を添付)

※1名からお申し込みいただけます。

Pick
UP

申請サイトはこちら!

下記のアドレス、または二次元コードから申請ください。

<https://toyama-passport.jp>



富山県 パスポート取得促進事業 🔍



◎この件のお問合せは

パスポート取得推進事業事務局(北日本新聞開発センター内)

TEL.076-411-5158(平日9:00~17:00)

県航空政策課 TEL.076-444-4039

TOPICS

梅雨の時期から夏場にかけては、気温や湿度が高くなり、食中毒の原因となる細菌が増えやすくなります。家庭で食中毒を予防するためには、細菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」という**食中毒予防の3原則**を実践することが大切です。

1

つけない



- ◎調理や食事前の手洗いの徹底
- ◎生肉や魚、野菜など食品ごとに区別して保管・調理
- ◎包丁やまな板、ふきん等調理器具の洗浄と消毒

2

増やさない



- ◎食品は常温で放置しない
- ◎冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下に維持
- ◎冷蔵庫は詰めすぎない

3

やっつける



- ◎中心部までしっかりと加熱する(75℃以上で1分以上)
- ◎電子レンジでは均一に加熱する(煮物の再加熱時はよくかき混ぜる)



◎この件のお問合せは 県生活衛生課 TEL.076-444-3230

ハチロウの きときと通信



2024年3月16日、北陸新幹線の金沢・敦賀間がついに開業しました。開業当日に行われた記念イベントでは、私も富山駅で多くの方々を出迎えました。改札口から出て来られる皆さんの表情はとても明るく楽しげで、富山県でさらに楽しい時間を過ごしていただけるよう、直接声をかけ、富山のPRもしました。

北陸新幹線金沢開業から9年。敦賀開業は、関西・中京方面が一層近くなり、更なる交流が生まれる大きなチャンスです。7月31日には大阪駅西地区に開業する商業施設「KITTE大阪」内に北陸3県の情報発信拠点「HOKURIKU+(ホクリクプラス)」がオープンします。また、10月から12月にかけてJRグループや沿線自治体を挙げて大型観光企画「北陸デスティネーションキャンペーン」が開催されます。

この追い風を最大限に活かし、北陸3県で切磋琢磨しながらも連携を深め、同時に富山の魅力・強みを磨き上げ、多くの方に富山を選んでもらえるように、富山の元気を北陸全体の元気につなげられるように盛り上げていきます!

富山県知事 **新田八朗**



Q

○の中に言葉を入れてください。

いつ起こるか
わからない災害に備えて、
「自助」「〇〇」「公助」の視点で
できることから防災対策!

ヒント:漢字2文字です。

正解者の中から
20名の方に
プレゼント!



べつばら富山『千代くるみ』

はがき応募:①~⑧の項目を全て記載のうえ、下記宛先まで。応募は1人1回までとし、当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥年齢、⑦特に興味を持ったコーナー名⑧本紙の感想
※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。
宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」 締切/6月28日(金)必着
◎前回(4月号)の答え…「人」 応募総数840人 正解者数834人 たくさんのご応募ありがとうございました。



WEBでの応募はこちら▲

子育て

支援
情報



子育て支援アプリ 「とみいくフレフレ」 供用開始しました!

県の子育て支援サイトと連携し、スマホなどの端末に支援情報を配信します!

配信内容

協賛店が発行するクーポンの掲載、イベント情報、病児保育の空き状況の確認など。応援団マークの提示も可能。

ダウンロードはコチラ



IOS



Android



とやま子育て応援団を 利用しませんか?

お子様連れのご家族が協賛店を利用した際、応援団マークを提示すると、割引や特典などのサービスが受けられます!

対象

18歳未満(高校等在学者含む)のお子様連れのご家族

サービス期間

毎月第3日曜日からはまる1週間

※上記期間を中心としますが、協賛店ごとに異なる場合がございます。

ご利用方法

各協賛店で応援団マークをご提示ください。

◎問合せ先:県子ども政策課 TEL:076-444-9683

県職員、こんな仕事
しています!

県庁おしごと人図鑑



所属

知事政策局

成長戦略室ウェルビーイング推進課

主任 **大澤** さん

座右の銘

“楽観主義者は全ての困難の中に好機を見出す”

普段のお仕事を
教えてください。

「ありがとう」と、普段から口に出していますか? ウェルビーイングは多面的な概念ですが、「思いやり」も一つの要素です。私は、富山県がもっと温かな県になってほしいという思いで、ウェルビーイングの普及・発信に取り組んでいます。また、ウェルビーイングを政策形成にも取り入れることで、県民の皆さんの実感に寄り添った施策の立案・実行に繋がりたいと考えています。

県民のみなさんにひと言!

特設サイトではご自身のウェルビーイングをチェックできるほか、ウェルビーイングの解説やダンス動画の募集などを行っています。近日中に新企画も発表予定ですので、ご期待ください!



ウェルビーイング特設サイト



県内おでかけ情報

四館連携企画展

立山・黒部の魅力 再発見!

～山河をめぐる歴史・文学・美術～

6月7日(金)～30日(日)

会場:富山県水墨美術館 展示室1・2

富山県美術館・富山県水墨美術館・富山県[立山博物館]・高志の国文学館の四館が共同して開催する初めての企画展。「黒部宇奈月キャニオンルート」で注目が高まっている「立山・黒部」の魅力に歴史・文学・美術の見地から迫ります。

開館時間 9:30～18:00(入室は17:30まで)

休館日 月曜日

料金 観覧無料(常設展は別途観覧券が必要)

富山市五福777 TEL.076-431-3719

四館学芸員らによるギャラリートーク
6月8日(土)、22日(土)各日14:00～ 申込:不要

これらの作品が 富山県水墨美術館(展示室1・2)に集結!

富山県美術館

日本を代表する巨匠が描く
「立山・黒部」に注目!



奥田元宗『剣』1966年
富山県美術館蔵

富山県水墨美術館

美しく雄大な
モノクロームの世界へご案内!



小杉放庵『立山と修験者』1930年代
富山県水墨美術館蔵

富山県[立山博物館]

悠久の立山曼荼羅、
迫力の黒部の映像は必見!



『立山曼荼羅』吉祥坊本 慶應2年(1866)
(国指定重要有形民俗文化財)
富山県[立山博物館]蔵

高志の国文学館

県内初公開の絵本原画が
やってくる!



『黒部の谷のトロロコ電車』2015年
文・絵 横溝英一 出版社 福音館書店

四館周遊 スタンプ ラリー

富山県美術館、富山県水墨美術館、富山県[立山博物館]、高志の国文学館のうち2館以上をめぐると、参加賞をプレゼント。4館すべてをめぐると抽選で「コンプリート賞」が当たります。

6月7日(金)～9月1日(日)まで

- 台紙方式で参加の場合は四館にスタンプ台紙があります。
- デジタル方式で参加の場合はこちらから



県政やイベントの
情報などを
発信しています。



県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478



E-mailは左記のお問い合わせ
フォームよりお送りください



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折り込みにより各家庭にお届けするほか、県の各施設や市役所・町村役場、図書館のほかコンビニエンスストア(一部)でも配布しています。また、本号とバックナンバーは県のホームページで閲覧できます。

◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。上記までお問い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

県広報とやま